

ブロードバンドが生み出す 新たな通信サービス

～地域における通信インフラの有効活用～

主 催 山 形 県

山形県オープンシステム研究会

〈受講のおすすめ〉

～ 業務に使うブロードバンド ～

「“2010年に光3000万”への挑戦」(NTTグループ技術展 2005. 11. 1)
光ファイバが急速に普及し、Everything over IP が視野に入ってきました。全国的な光ファイバ網の整備を受け日々新たなサービスが生み出されており、一部ではこれまでの常識を遙かにこえたコスト削減効果が得られています。

IPセントレックスやIP-VPNサービスなどの新技術については、事業者間で用語が統一されていないなど、利用者へのわかりやすい説明が不足しており、県内での採用事例がすくないようです。また、これからのサービスである携帯電話のIP化(モバイルセントレックス)と新たなビジネスの可能性についても、急速に発展している分野であるため、いまだに混沌としている状況です。

本講演では、e-Japan戦略における光ファイバ網整備の推進役を果たしているNTTから講師をお招きし、国内通信事業の新たなサービス戦略と県内のブロードバンド活用事例について、事例を交えわかりやすく説明いたします。

電話や基幹業務システムのようにインターネットとは無縁だった業務も、ブロードバンドの恩恵を受ける時代になっています。県内企業が競争力を一層高めるツールとして、技術者だけでなく間接部門など多くの方にご参加をおすすめします。

記

1 日 時 平成17年11月22日(火) 13:30～16:00 (2.5時間)

2 場 所 山形県産業創造支援センター 多目的ホール
〒990-2473 山形市松栄一丁目3番8号 (Tel 023-647-8111)

3 内 容

13:00 受付開始

13:30 あいさつ

13:35 第1部

変革期にある固定電話、携帯電話

～本格導入がはじまったモバイルセントレックス～

講 師 東日本電信電話株式会社 (NTT東日本)

ビジネスユーザ事業推進本部法人向けIP電話サービス担当

担当課長 安田 新二 (YASUDA, Shinji) 氏

- ・ FMC (固定移動通信融合) の動向
- ・ 企業におけるVoIPの進展
- ・ 本格導入がはじまったモバイルセントレックス / 「PASSAGE DUPLER/N900iL」 導入事例
- ・ NTT東日本の取り組み

15:05 休憩

15:20 第2部

光ファイバによる地域通信網の新たな展開

～フレッツグループアクセスを利用した導入事例～

講師 東日本電信電話株式会社（NTT東日本）

山形支店法人営業部 e-Japan推進室

担当課長 齋藤 達也（SAITO, Tatsuya）氏

（光ファイバ網の山形県内における事例紹介）

- ・某自治体向け透過型V-LAN
- ・FGA利用でのデータ、音声（内線VoIP）重畳利用事例
- ・データ、テレビ会議重畳利用事例

4 対象者 一般

5 参加費 無料

6 定員 60名程度

7 申し込み 次のいずれかでお申し込みください。

期限：平成17年11月18日（金）

A	電話	山形県産業創造支援センター宛 ※ にお電話下さい。 Tel 023-647-8111
B	ファックス	別紙申込書にご記入の上、送付下さい。 Fax 023-647-8118
C	インターネット	http://www.aic.pref.yamagata.jp/ 上記URLからお申し込みください。

※事務局：山形県産業創造支援センター デザイン・情報課
金内秀志（KANAUCHI, Shushi）、多田伸吾（TADA, Shingo）
〒990-2473 山形市松栄1丁目3番8号

（注）本講演は、「山形県オープンシステム研究会」と共同で開催します。

----- キリトリ -----

BBNEW20051122

【山形県産業情報化リーダー育成研修#9】

ブロードバンドが生み出す新たな通信サービス ～地域における通信インフラの有効活用～

事業所名

住所

Tel

Fax

氏名	所属部署